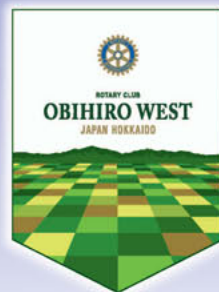




Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ 第2066回例会 2014.11.6 会報



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

国家斉唱 ソングリーダー

馬島正尚会員



会長報告

皆さんこんにちは。

10月23日の移動例会、新入会員歓迎会に多数の出席有り難う御座いました。又スポンサーになられた会員に於かれましては新会員と共に丁寧な紹介活動有り難う御座いました。改めて新会員の所属する委員長又委員の方々の心温まる御指導の程を宜しく御願いたします。

又、10月16日には礼文島の災害義援金に対しまして突然の御願いにもかかわらず46,500円もの御協力を戴き改めてお礼を致したいと思います。

さて、私事で有りますが、スケートのシーズンに入り何かと現場の競技役員として活動が本格的になって来ました。今週末はジャパンカップスピードスケート競技会と言う全日本選抜競技会で、来週は12日より世界大会です。ワールドカップ第1戦16日まで世界各国より28カ国250名のトップ選手が結集する大会です。16日までお手伝いに入ります。従いまして次週の例会は佐々木副会長に代理を御願いたしましたので宜しく御願いたします。

本日は、パストガバナー柴田和明会員に会員卓話を御願しています。今月はロータリー財団月間ということで皆さんと共に意識の向上を更に図りたく思っています。宜しく御願申し上げ会長報告と致します。

ニコニコ 11月6日 14,000円
献金 累計 295,221円 (11月6日現在)

平田利器会長



11月結婚祝

親睦活動委員会

渡部省一会員(1972.11.25)、深澤知博会員(1983.11.3)、石原英樹会員(1984.11.3)、小甲哲士会員(2004.11.13)



11月誕生祝

林文昭会員(1947.11.22)、茨木雅敏会員(1951.11.25)、若林剛会員(1956.11.19)、太田豊会員(1961.11.22)、菊池俊博会員(1973.11.10)

乾杯



会務報告

天野清一幹事

①帯広北RC、移動例会開催のご案内
日時 11月14日(金)午前11時45分
場所 帯広空港ターミナルビル

②帯広南RC、夜間例会開催のご案内(クラブフォーラム)
日時 11月17日(月)午後6時30分
場所 北海道ホテル

③帯広南RC、11月24日(月)の例会は、祝日振替休日のため休会と致します。

④帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 11月27日(木)午後6時30分
場所 夢人(ローヤルプラザ BF)
会費 2,000円(当日のキャンセルも会費を徴収いたします)



委員会報告



新入会員

IM実行委員会



会長 平田 利器 副会長 佐々木和彦 会場監督理事 堂山 啓太 発行：広報委員会
幹事 天野 清一 副会長 飯田 正行 プログラム委員理事 久保 且佳 委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

ニコニコ献金

親睦活動委員会

平田 利器会員

移動例会、新会員歓迎会、皆様のご理解とご協力で盛大に終えて感謝申し上げます。



川田 章博会員

今月、北海道産業功労賞を受賞することになりました。皆さんのサポートのおかげです。ありがとうございました。

川上 哲平会員

IM実行委員会の役員、委員が決まりました。よろしく願い申し上げます。

河西 智子会員

10月23日の例会にて近藤真治さんにご入会いただき心より感謝申し上げます。また新会員歓迎会では、新会員の皆様を囲んで皆様に盛り上げてい

ただき西RCらしい素敵な会になりました。誠にありがとうございました。

谷脇 正人会員

11月20日、ロータリー情報委員会で小室先輩を例会講師をお願いしています。皆様是非出席お願いします。

森 房明会員

あたためてきた、新入会員紹介記事いよいよ発行です。ただ一言、越智さんの力作ですので皆さん読んで下さい。

中川 芳明会員

11月2日、とかちフードバレーハーフマラソンにて1時間47分で無事完走しました。応援ありがとうございました。自分でもまずまずでした。ゴール後、一元さんよりニコニコだと言われましたので…

◆プログラム

ロータリー財団委員会



「ロータリー財団の活動について」

パストガバナー 柴田 和明 会員



皆さん、こんにちは。本日の卓話につきまして2、3日前に委員長の柳沢さんの方から非常に暇なようだから柴田さんやってくれないかというようなことで雑談でよければよろしいですよということで受けた訳ですが委員長の本来的なお考えは財団に少しでも寄付をして頂きたいという大きな心がうずまいていることがわかりました。それは委員長に代わりまして私からも会員のみなさまに少しでも一つ寄付の方のご協力賜りますことをお願いを申し上げます。私、この指名がなければ財団にお金出すことはしなかったつもりですがえらいところでえらい損をするもんだな、得をするもんだなと解釈しております。忌憚のない話を今日会場にきましたら、岡田先生の方から柴田さん、財団なんかという話よりもっと色々な話をした方がクラブの為になりますよと忠告を頂きまして、それもそうだなというふうに私も考えるところがございます。財団につきましては今回の大会でRI会長代理から詳しく説明がございましたし、また財団委員長でありますパストガバナーの方からも詳しく月誌を通じまして全クラブにご指導が行きわたっていると思います。そういうことであまり詳しく言っても財団のことですから、面白い話はまったくございません。ただたださかのぼれば1917年でしたか蔵野さんがRI会長を務めたかたですが提言によりまして世の中にたいして何か良い事をしようじゃないかという一つの提言があったようでございます。その後1928年に財団という名前がついたというふうになんか記憶しておりますけど、その発祥の地はやはり使用人の人が集まってひとつのロータリークラブを作ったと、そこに同志間の寂しさを満足するがごとくではなくて、それ以外にひとつ社会にたいして奉仕をしようじゃないかということがシカゴの街角にトイレを作ったと、大衆トイレを作ったということがこれがひとつの大きな考え方の発想点でないかと私は思っております。それからだんだんそういうふうになりまして、今日に至っているわけでございますが、財団も変貌してまいりまして形としましてはみなさんも御存じの通り未来の夢計画というところにたどりついたわけでございますけど、その中には国際奉仕と地域の財団奉仕と大きくわかれまして現在にいたっておるところでございます。とくにこの財団につきましてはこのままではだんだん会員一人一人から遠のいてしまうという危惧もあったそうございましてそれを一つが委員のあしもとに少し重点をおくということで地域財団にたいする資金援助ができたわけでございます。これがWFと国際財団資金と地域財団資金の二つに分かれておりますから世界のほうはWF、地域はGTFとなっております。

この辺までは皆さん、充分ご存じだと思います。ただそこから先となりますとTDFが利用することによって、3年後に戻ってきますからクラブに、それを元に活動していくという方法が新しく出来たわけでございますが2500地区は対象、該当するクラブが出てきておりますが34地区をみても非常に少ないと言われております。もっともこの資金を利用してクラブに還元できるような奉仕活動を考えていかなければならないと思います。最後になりますますが少しでも財団に協力賜りたいという言葉を残せば今日の30分の責任が終えるのかと思います。今後も何かとご指導頂きたいと思っております。私もクラブ以外に出た時なりに、また勉強してお伝えしてまいりたいと思っております。今日はこの辺で終了させて頂きたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。